

農の雇用事業に関するアンケート 調査結果概要

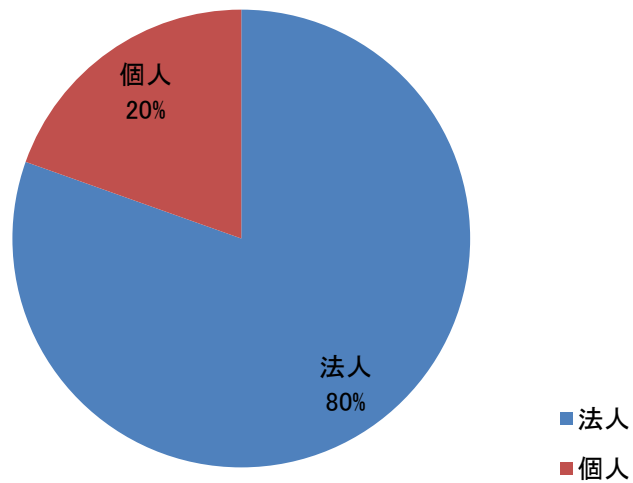
- | | | | |
|-------|-------------------------------|-----------|--------------|
| ■調査期間 | 令和元年6月28日（金）～8月21日（水） | | |
| ■調査対象 | 平成30年度以降農の雇用事業を実施した農業法人等及び研修生 | | |
| ■回答数 | 農業法人等 | 1,336 経営体 | （回答割合 87.3%） |
| | 研修生 | 1,675 人 | （回答割合 80.6%） |

令和元年12月24日
農林水産省

I. 経営体向け調査の結果概要

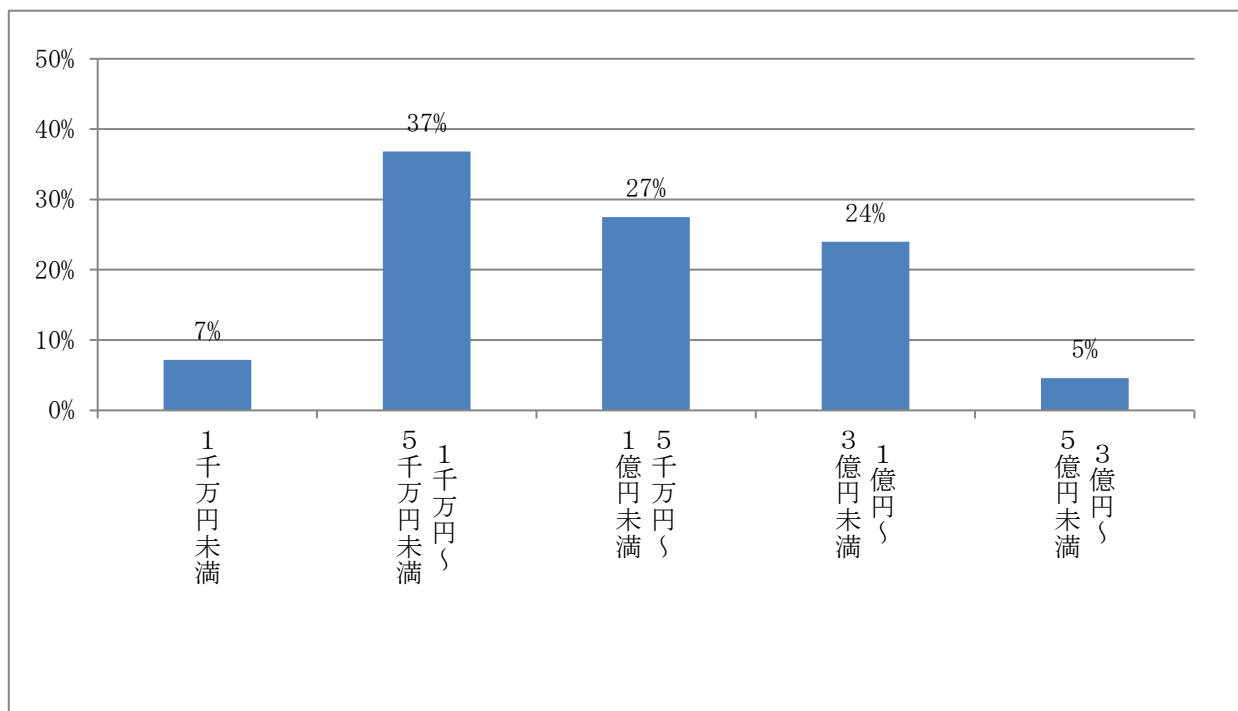
1. 基本情報について (1) 法人・個人

n=1,334



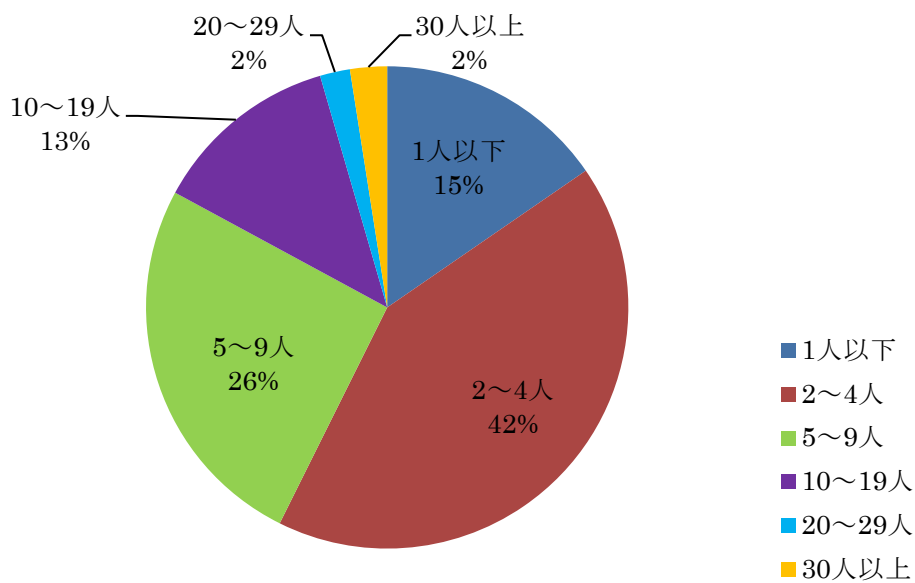
1. (2) 昨年の農業関連売上

n=1,114



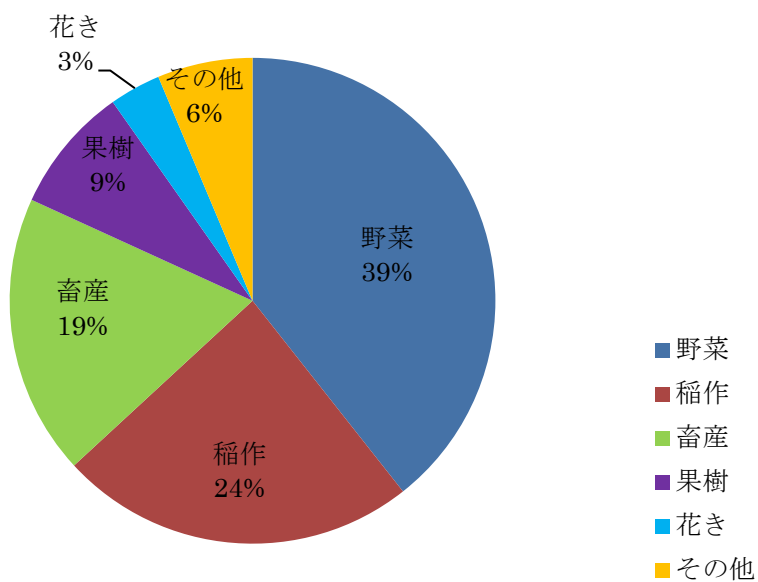
1. (3) 現在の農業部門の正社員数

n=1,292



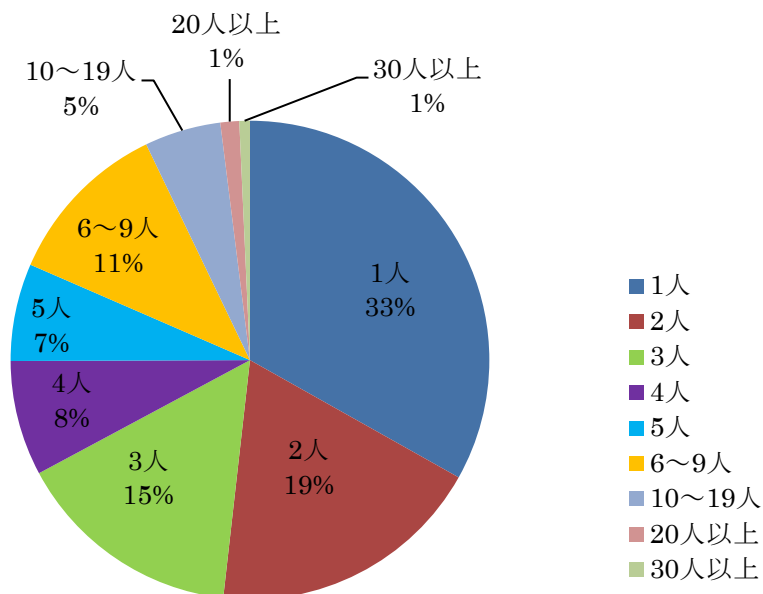
1. (4) 主な経営作物

n=1,119



1. (5)平成 25 年度以降で本事業を活用した人数

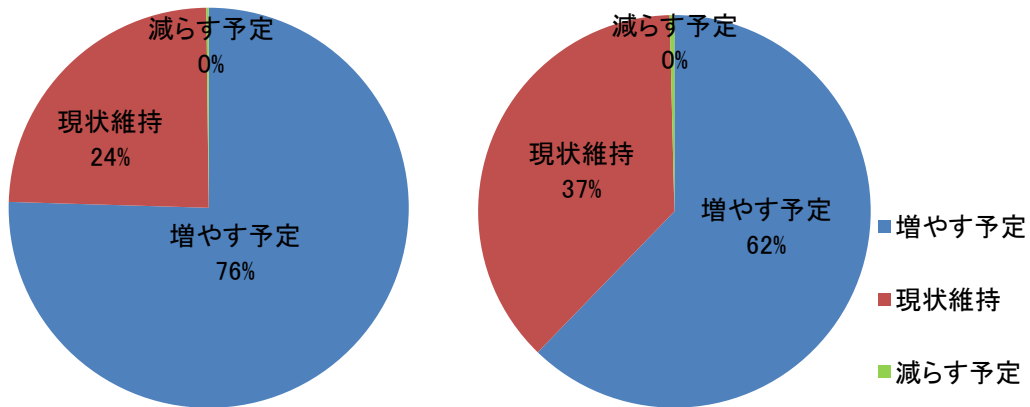
n=1,261



2. (1) 今後5年間で、正社員数を増やしたいですか。

法人 n=1,068

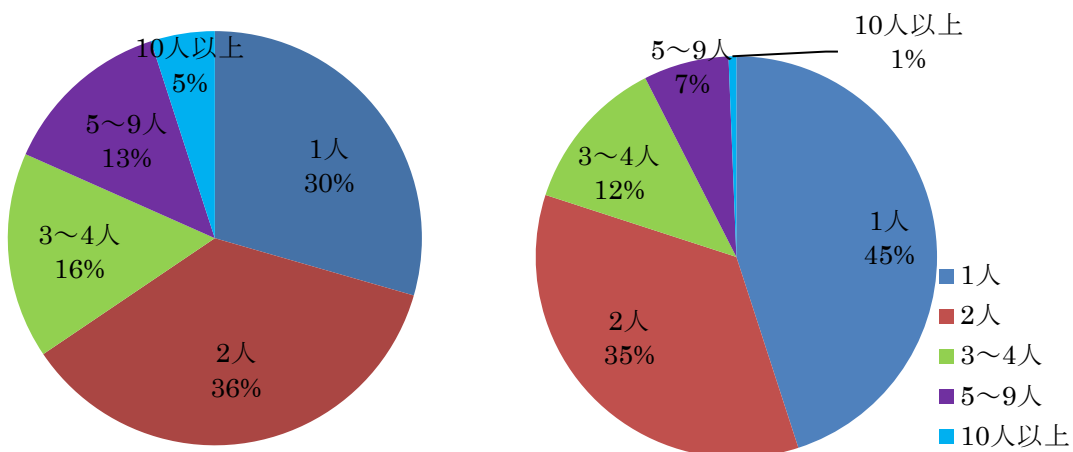
個人 n=257



2. (2) 増やしたい人数

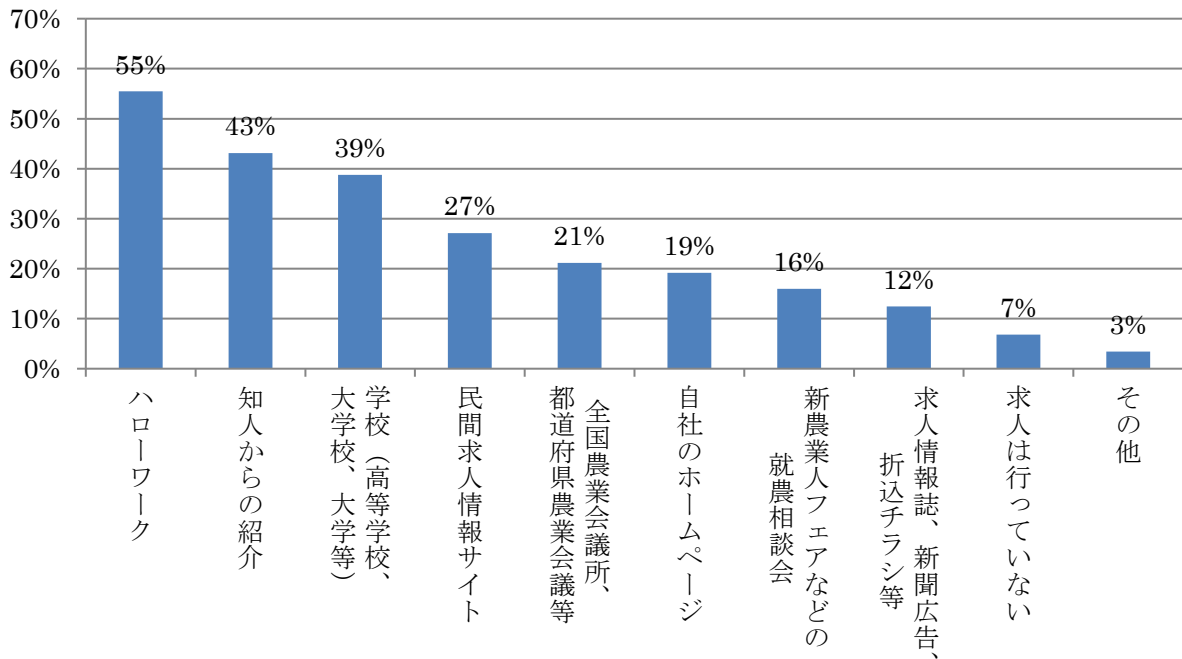
法人 n=801

個人 n=160



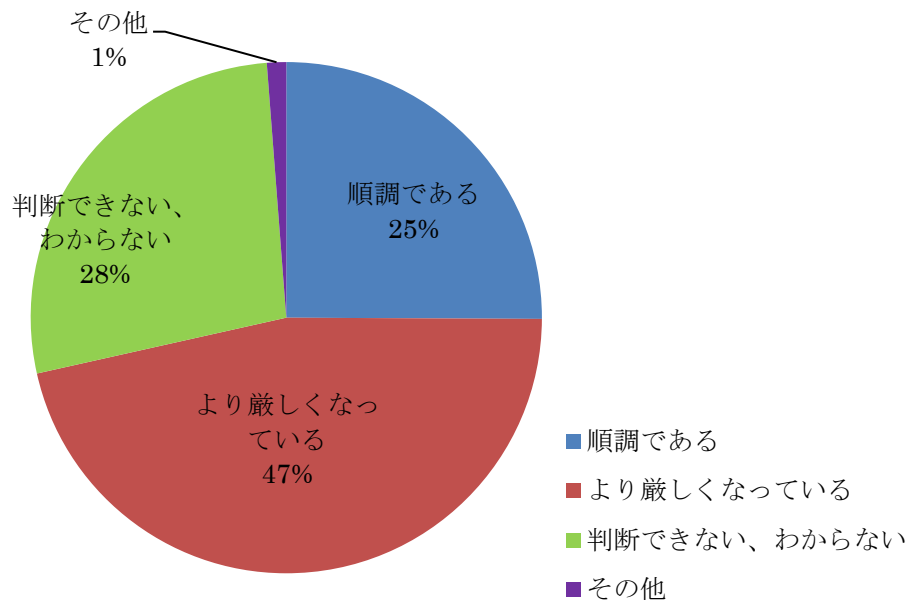
3. 正社員の求人先はどこですか。(複数回答可)

n=1,331



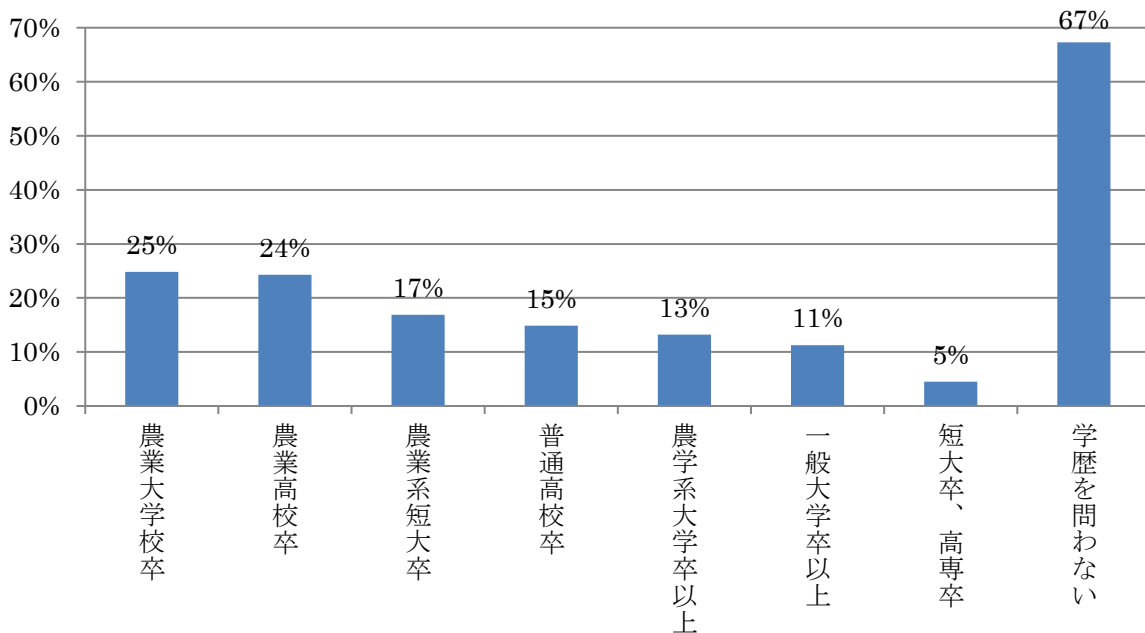
4. 以前と比べて、新規の雇用就農者の確保はどのように変化していますか。

n=1,312



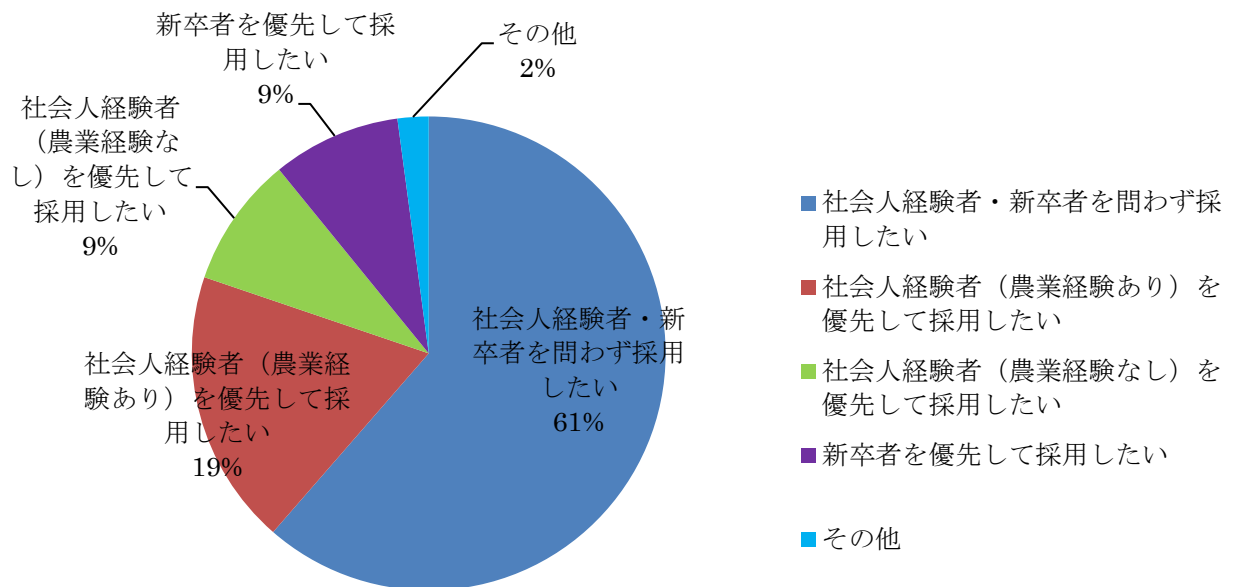
5-1. 正社員を雇用するにあたり、どのような人を優先して採用したいですか。
(複数回答可)

n = 1,327



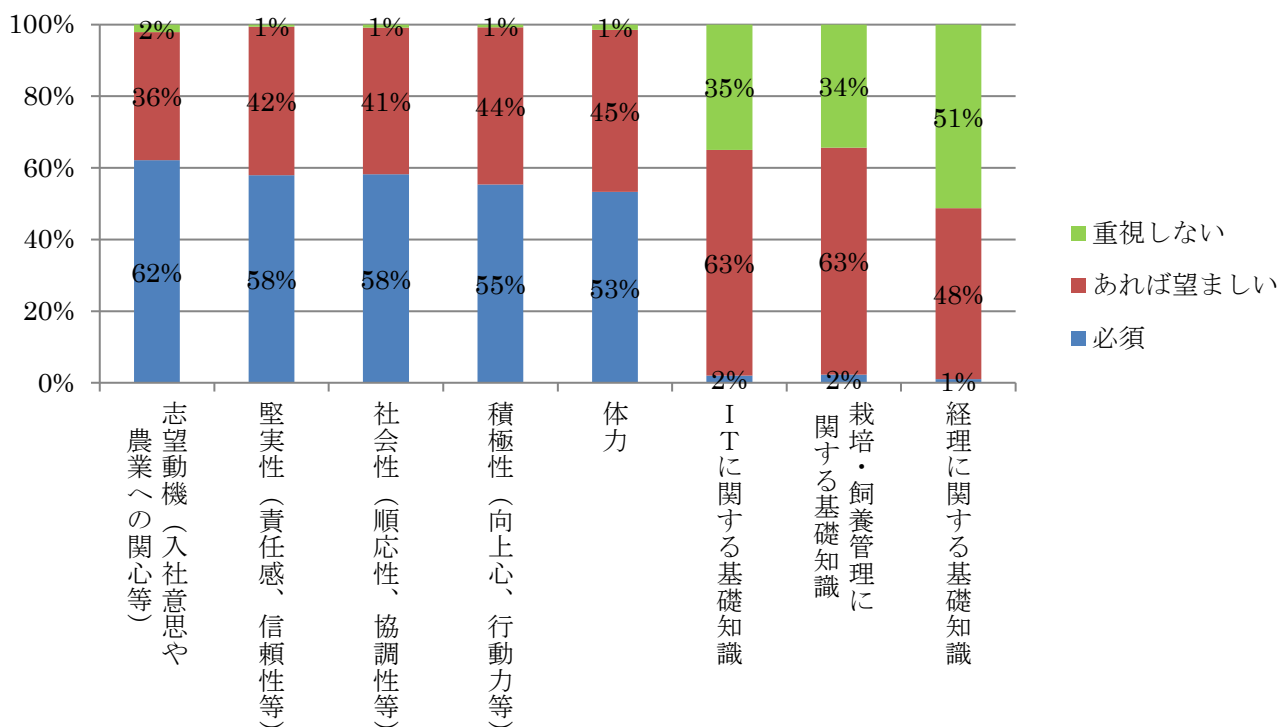
5-2. 正社員を雇用するにあたり、社会人経験を重視しますか。

n = 1,324



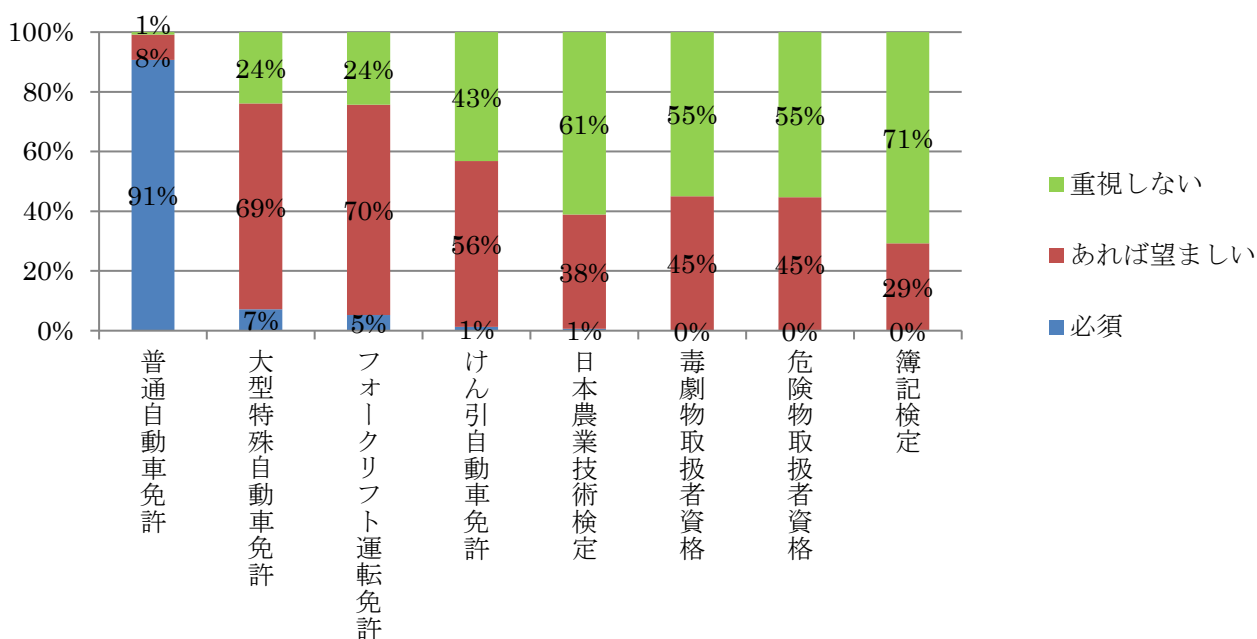
5-3. 正社員を採用する際に、評価する要素について、それぞれ「必須」、「あれば望ましい」、「重視しない」でお答えください。

n = 1,326

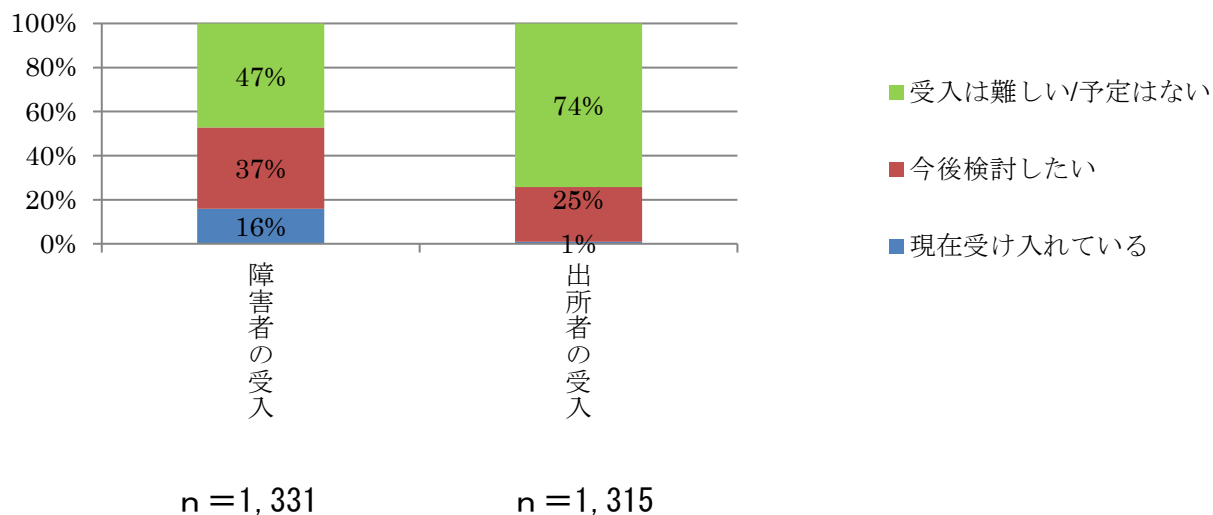


5-4. 正社員を採用する際に、評価する免許・資格について、それぞれ「必須」、「あれば望ましい」、「重視しない」でお答えください。

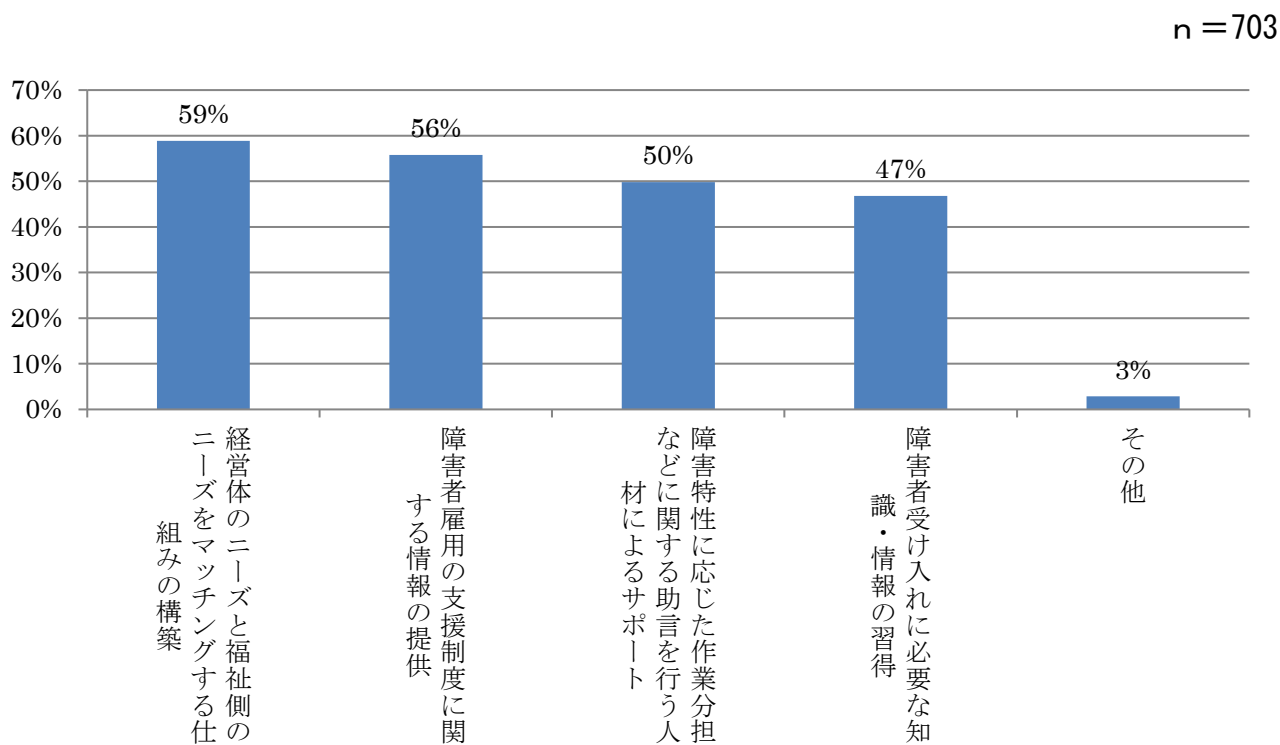
n = 1,326



6-1. 農業分野の労働力不足に対応するためには、多様な人材を受け入れて労働力を確保していく必要があります。例えば、以下の障害者と出所者の受入について、それぞれ「現在受け入れている」、「今後検討したい」、「受入は難しい/予定はない」でお答えください。

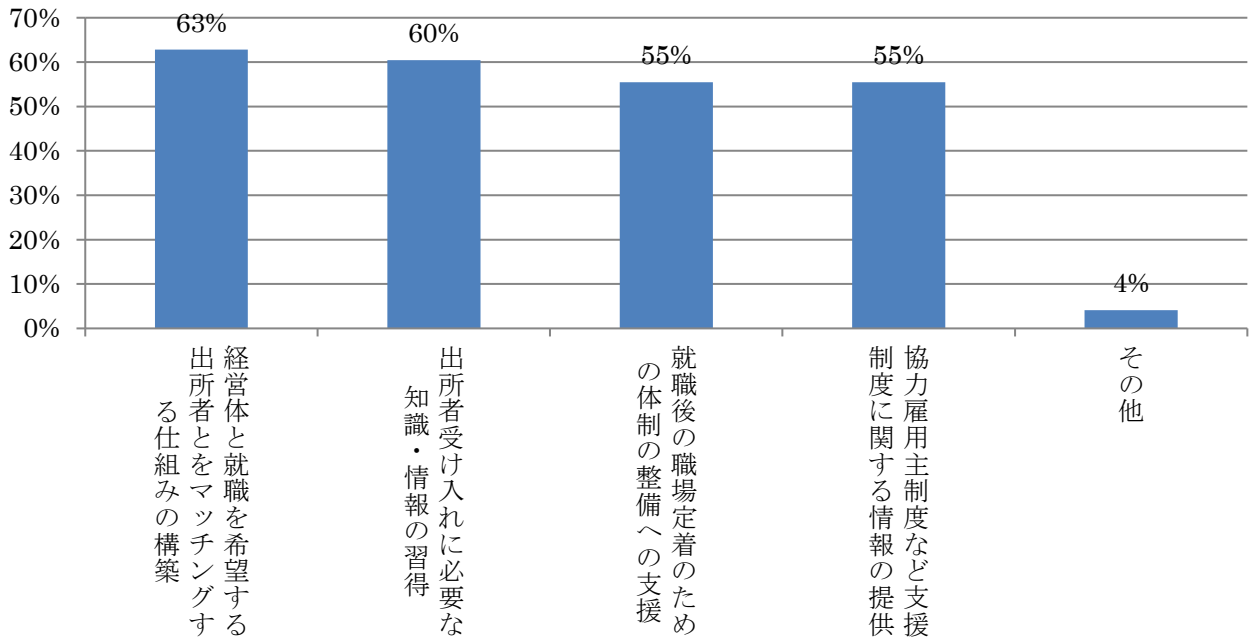


6-2. (6-1. の障害者の受入で「現在受け入れている」又は「今後検討したい」と回答された方にお聞きします) 障害者の受入を検討する上で、こういったサポート等があれば受入が進みますか。(複数回答可)



6-3. (6-1. の出所者の受入で「現在受け入れている」又は「今後検討したい」と回答された方にお聞きします) 出所者の受入を検討する上で、こういったサポート等があれば受入が進みますか。(複数回答可)

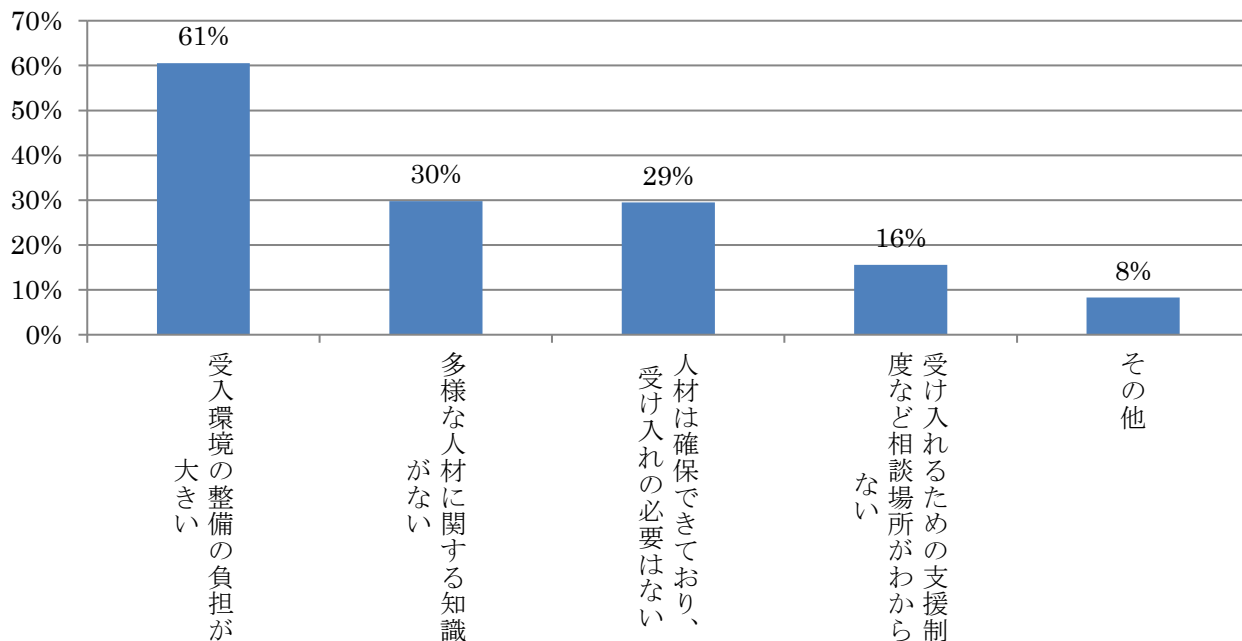
n = 339



6-4. (6-1. 障害者の受入又は出所者の受入で「受入は難しい/予定はない」と回答された方にお聞きします) 障害者・出所者の受入が難しい理由は何ですか。(複数回答可)

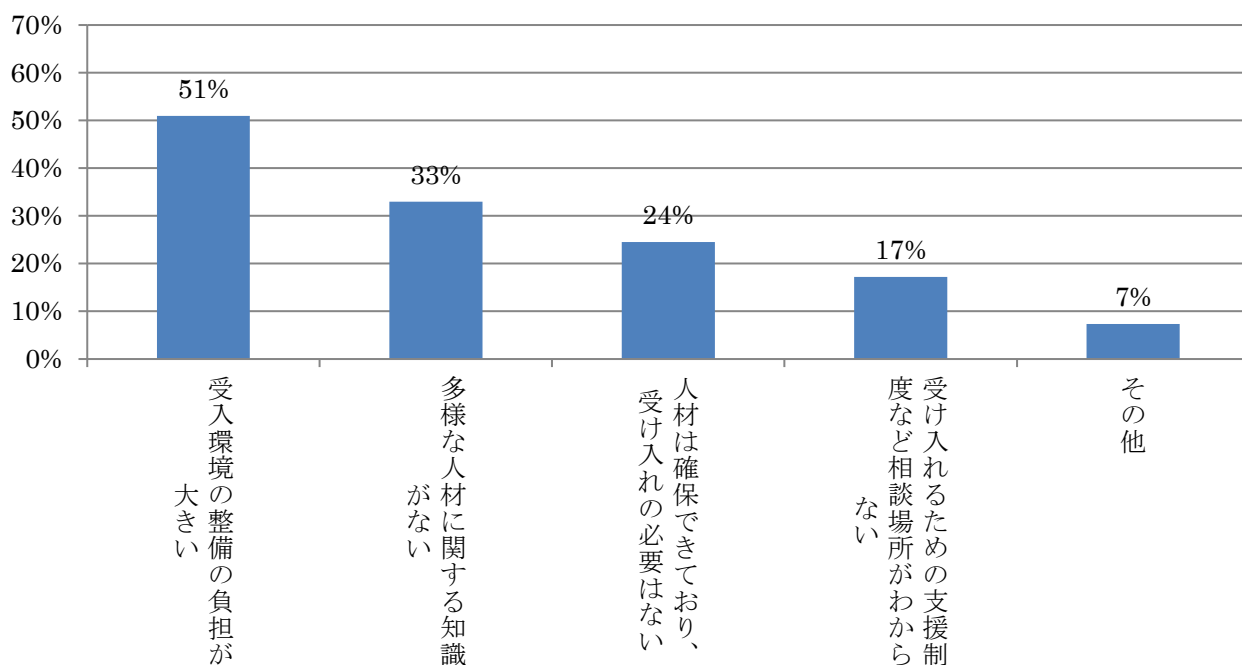
障害者

n = 976



出所者

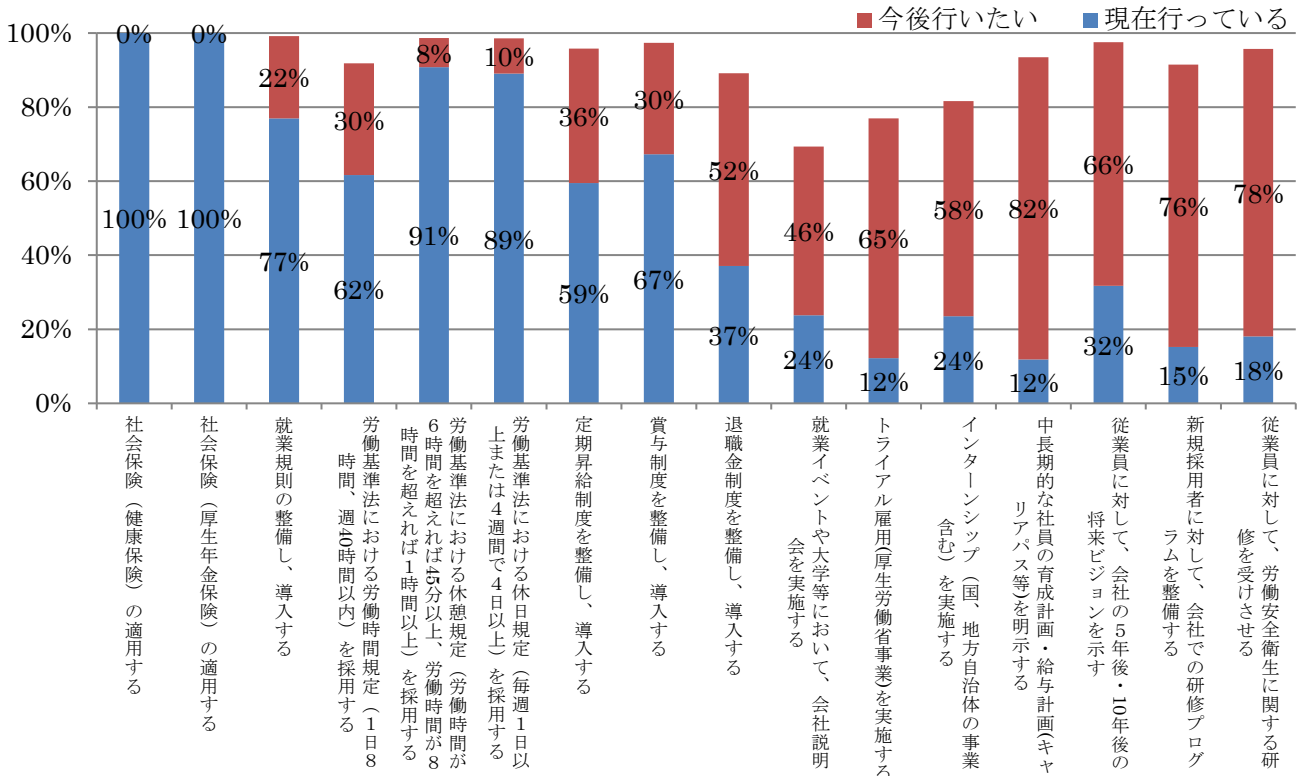
n = 976



7-1. 具体的な雇用就農者の確保・定着を図るための取組について、お答えください。

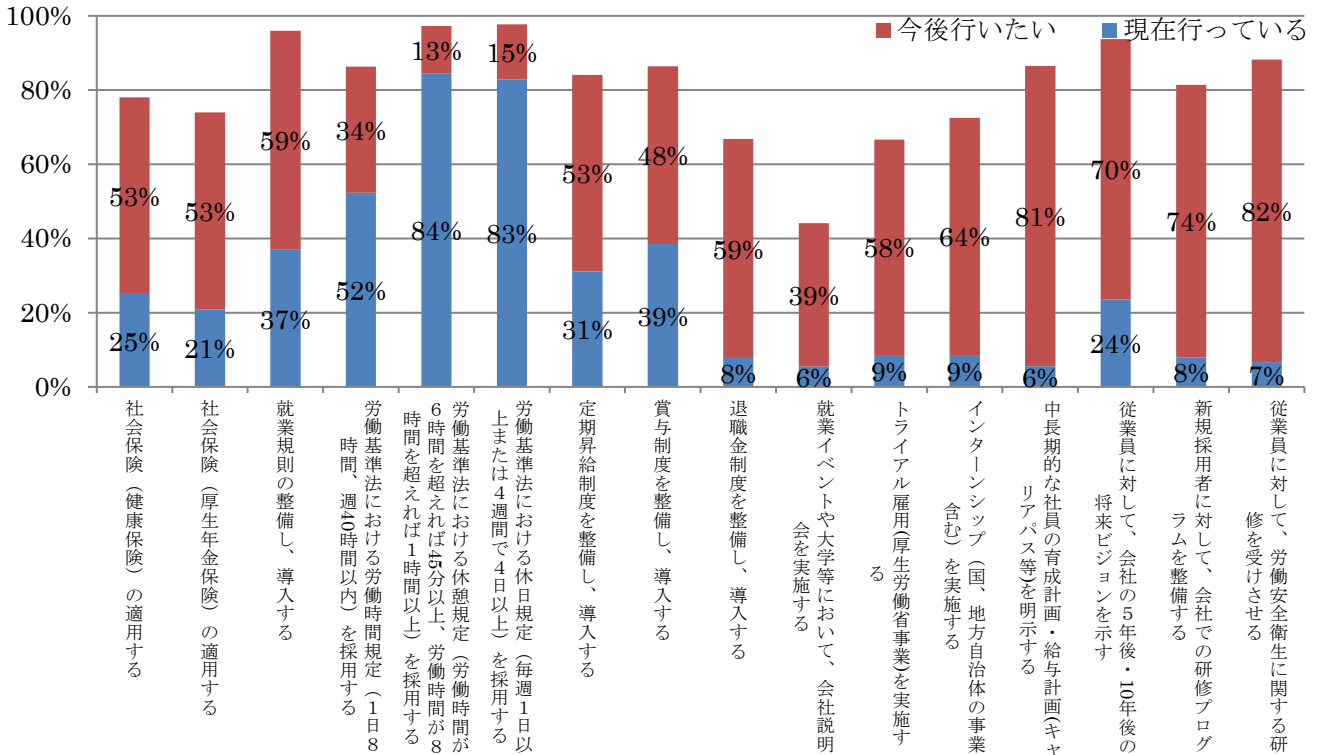
法人

n=1,060



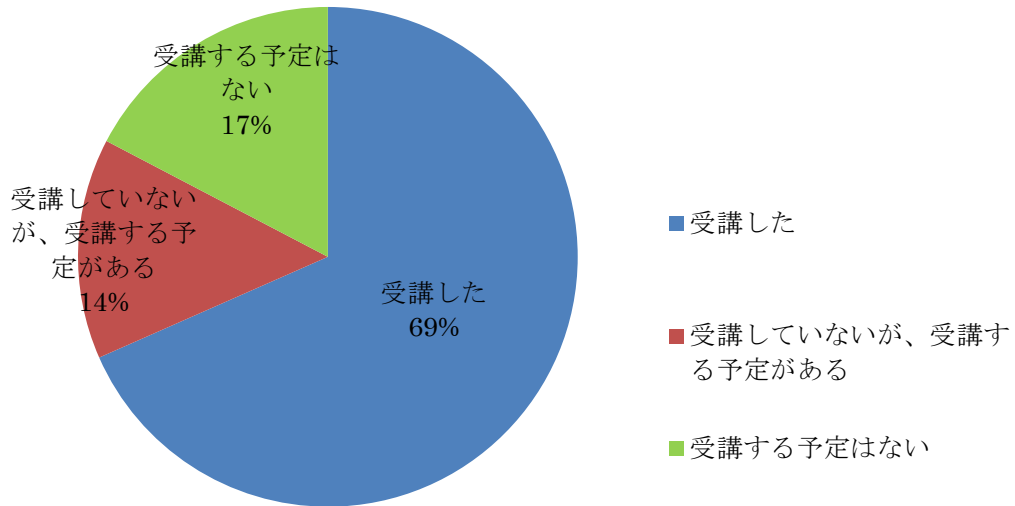
個人

n=258



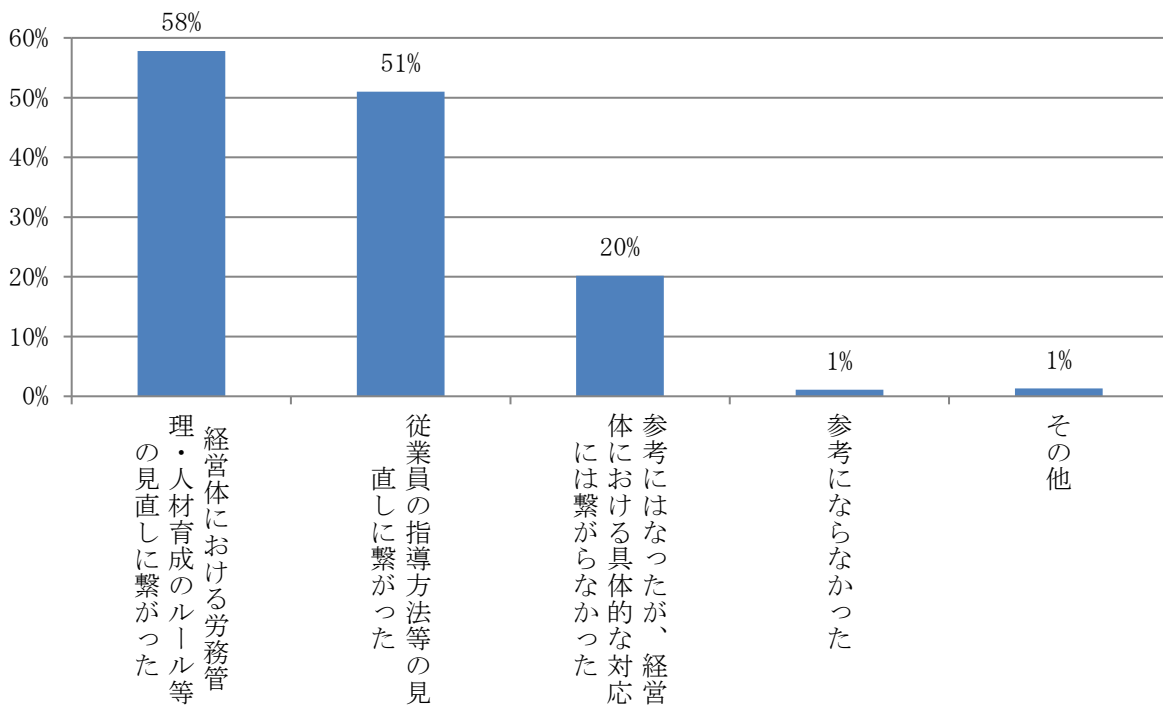
7-2. 経営者・研修指導者が労務管理や人材育成に関する研修を受講しているかお答えください。

n = 1,310



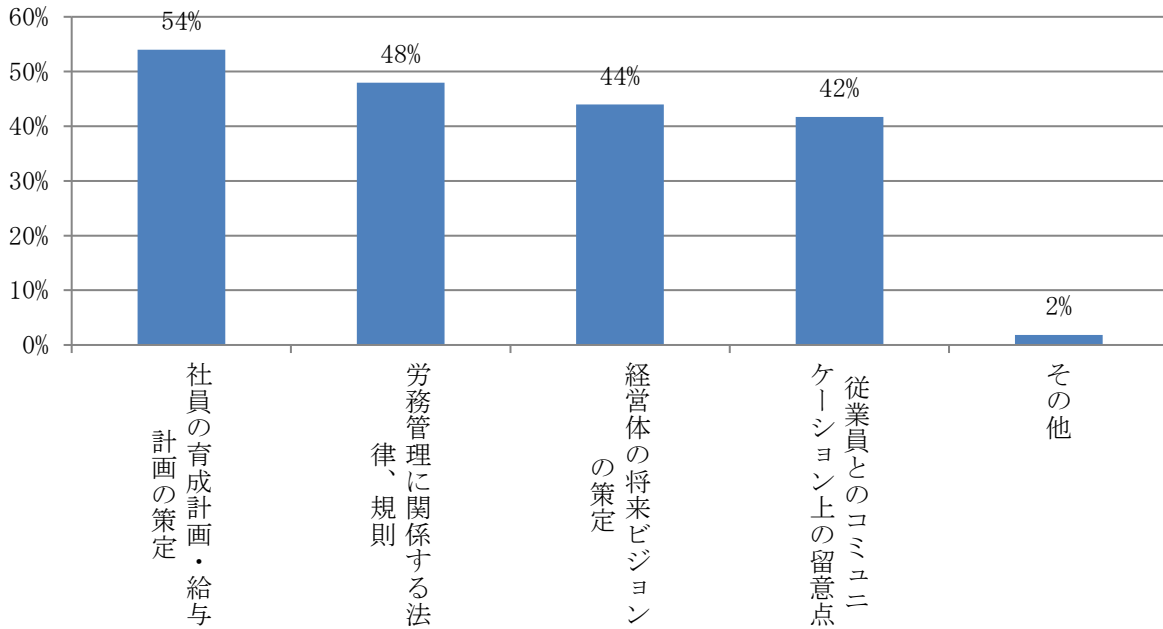
7-3. (7-2で「受講した」と回答された方にお聞きします) 労務管理や人材育成に関する研修を受講した効果をお答えください。(複数回答可)

n = 896



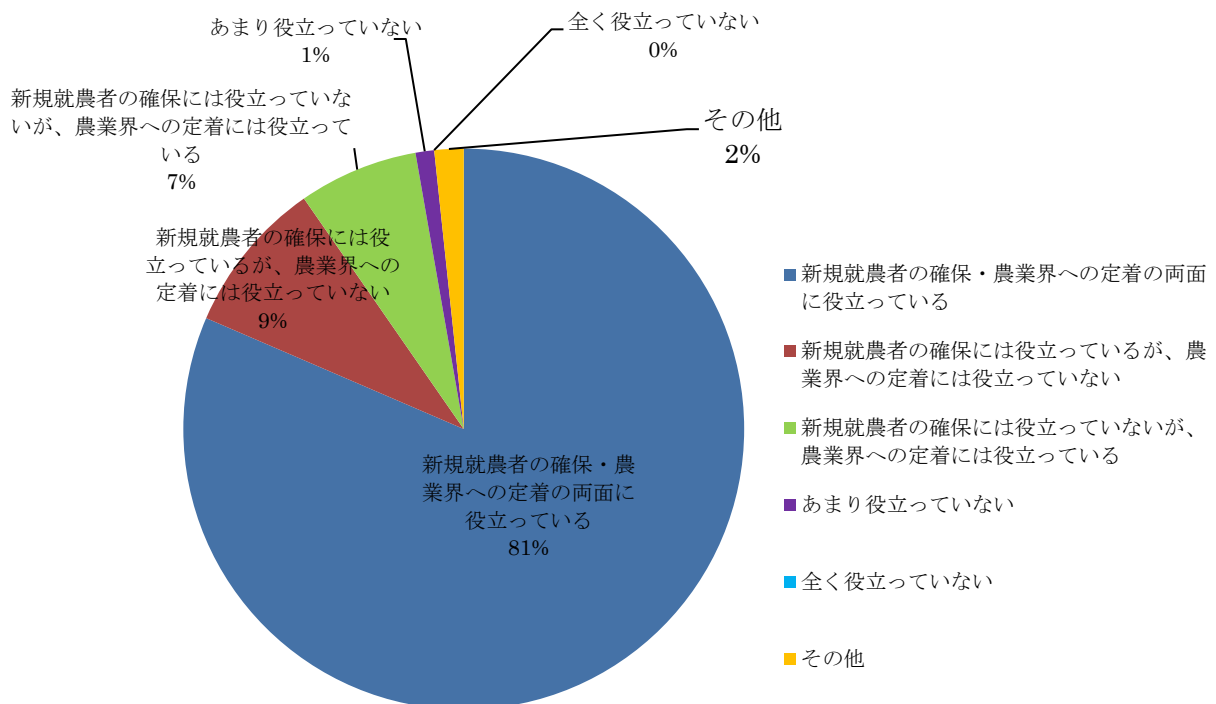
7-4. 労務管理や人材育成に関する研修の内容として、今後受講したいものについて、お答えください。（複数回答可）

n = 1, 237



8. 「農の雇用事業」は新規就農者の確保・農業界への定着にどのように役立っていると考えますか。

n = 1, 306



9. 「農の雇用事業」に関する意見等について（自由記載）。

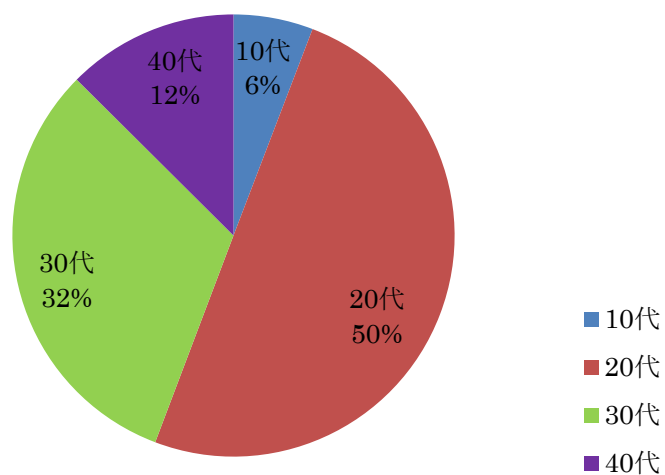
- ・ 申請書等の事務手続きを簡素化すること
- ・ 支援期間を3年～5年程度に延長すること
- ・ 事業研修生の年齢制限の緩和をすること
- ・ 従業員数に応じた採択上限を廃止すること
- ・ 最低賃金が上がっているため、助成額を増額すること
- ・ 研修生の都合による離職は定着率から除外すること
- ・ 定着率要件を廃止すること
- ・ やむを得ない理由により週35時間の労働時間を満たさない場合は柔軟に対応すること

Ⅱ. 研修生向け調査の結果概要

1. 基本情報についてお答えください。

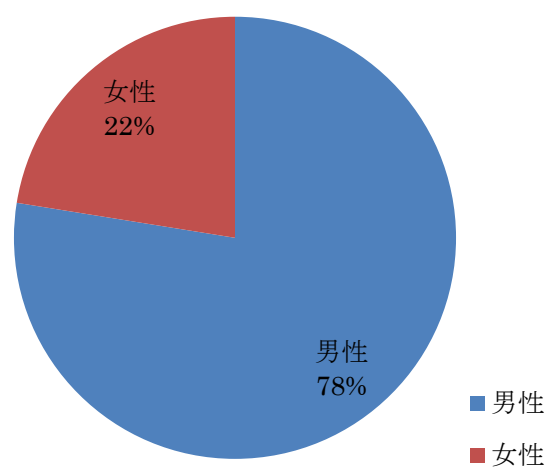
(1) 年齢

n=1,666



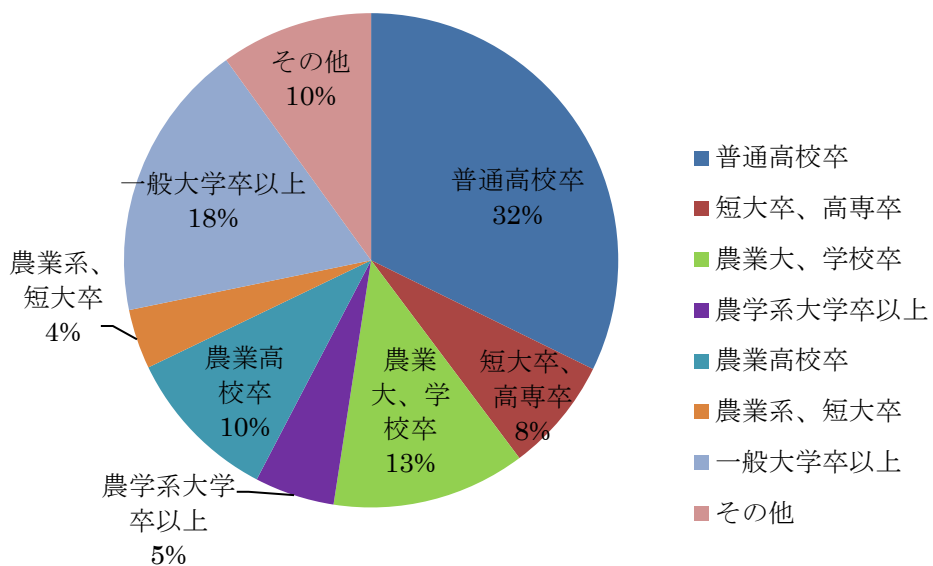
1. (2) 性別

n=1,669



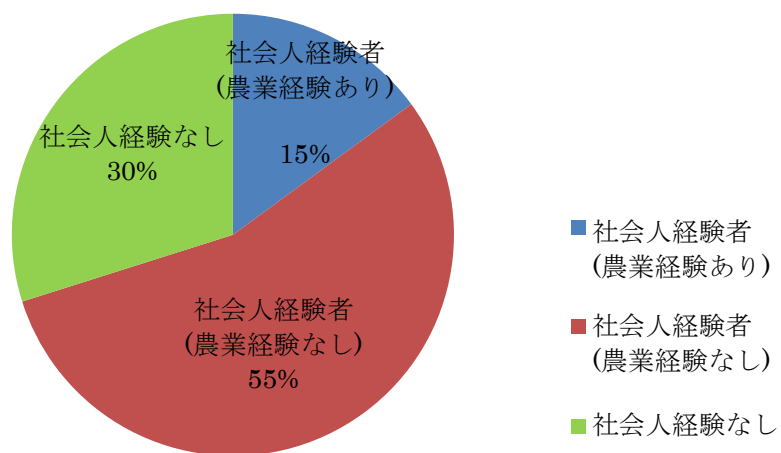
1. (3) 雇用時の学歴の区分

n=1,665



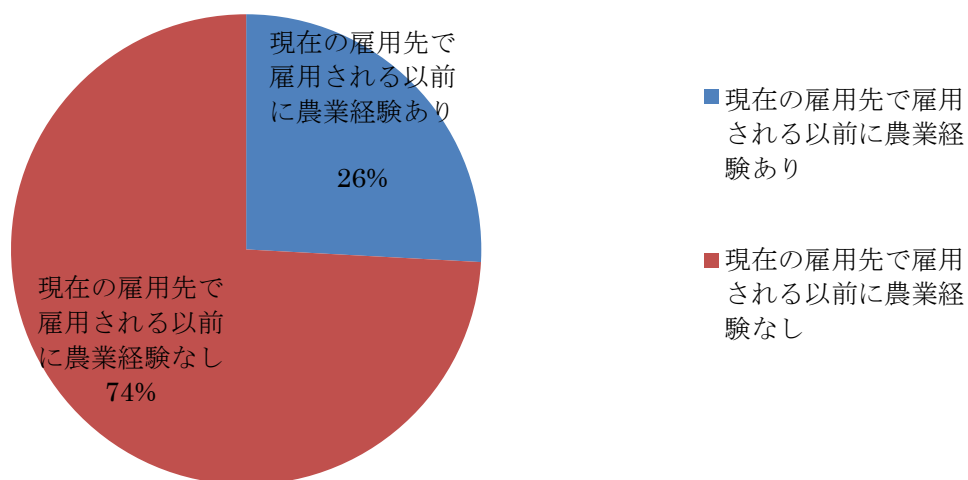
1. (4) 雇用時の社会人経験の区分

n=1,653



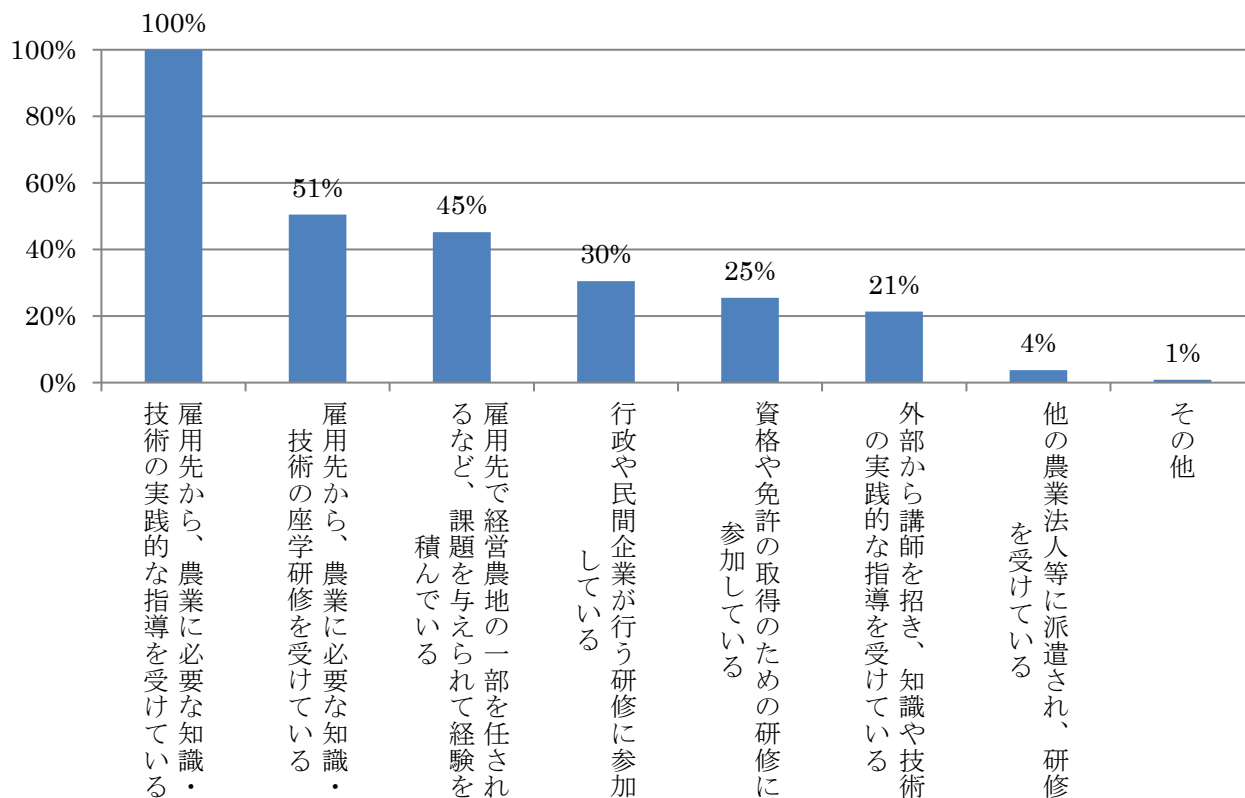
1. (5)現在の雇用先で雇用される以前に農業経験はありましたか。

n=1,663



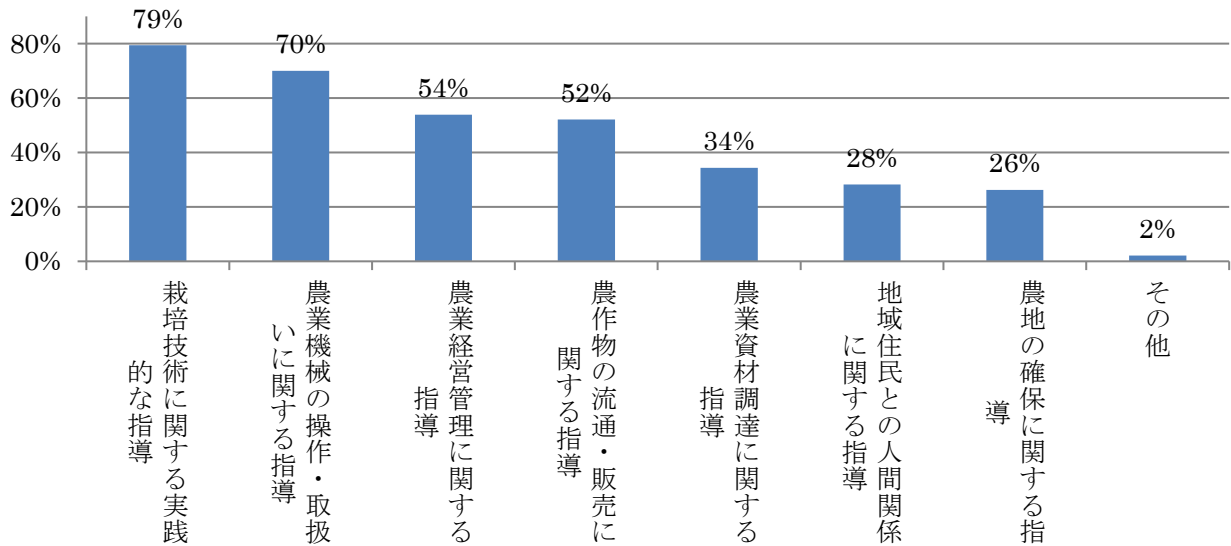
2. 雇用先で、研修として実施されているものについて（複数回答可）

n=1,661



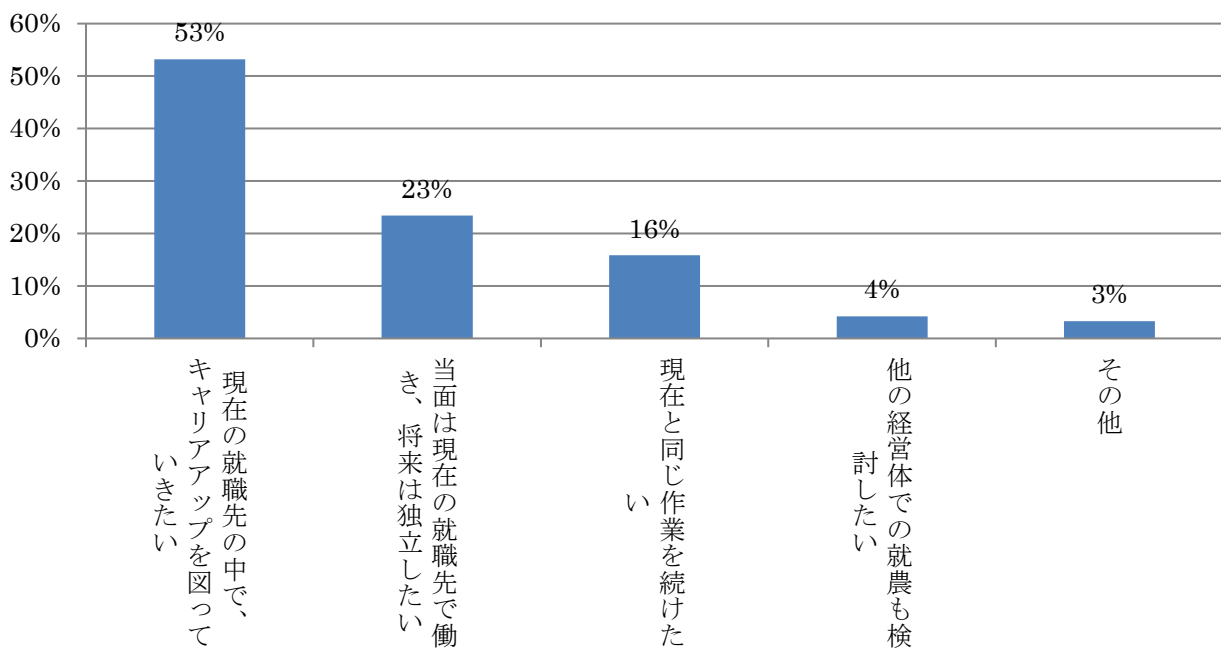
3. これから先も農業に従事していくにあたって、必要な知識・技術で今後学びたいものについて（複数回答可）

n=1,657



4. 今後の長期的な展望として、当てはまるものをお答えください。

n=1,661



5. 雇用先以外の者で、指導・助言を受けるとしたら、次のどの機関から指導・助言を受けたいですか。(最大3つまで回答)

n=1,656

